



二十二十年五月九日

☆ 旅行も、温泉も、外食もないゴールデンウィークをいかがお過ごしでしたか？緊急事態宣言は延期され、長期化必至のコロナ禍は、見えない敵との長い戦争です。

☆ **みずからの生活様式を見直すこと**

☆ 喫茶店から灰皿が消え、ごみ分別は今や常識です。そうして社会の生活様式は少しずつ変わりました。コロナは我々の生活様式を突然否応なく変えさせました。パーティーはなくなり、バキングももう楽しめない。さみしくても、しなければ生き残れないのなら仕方ありません。原子力発電や、地球温暖化も同じことかもしれせん。政府がこれからの新しい生活様式を提示しました

☆ **一人一人の基本的対策**

▽人との間隔はできるだけ2m空けること、

▽遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶこと、

▽外出時、屋内にいる時、会話をする時は、症状がなくてもマスクをつけること、

▽会話は可能な限り真正面を避けること、

▽家に帰ったらまず手や顔を洗い、手洗いは三十秒程度かけて水とせっけん丁寧で洗うこと、

▽流行している地域からの移動を控えること

☆ **日常生活**

▽こまめな手洗いや消毒、

▽換気、

▽「密閉・密集・密接」のいわゆる「3つの密」を避けること

☆ **新しい働き方のスタイル**

▽買い物は一人や少人数ですいた時間に素早く行うこと、

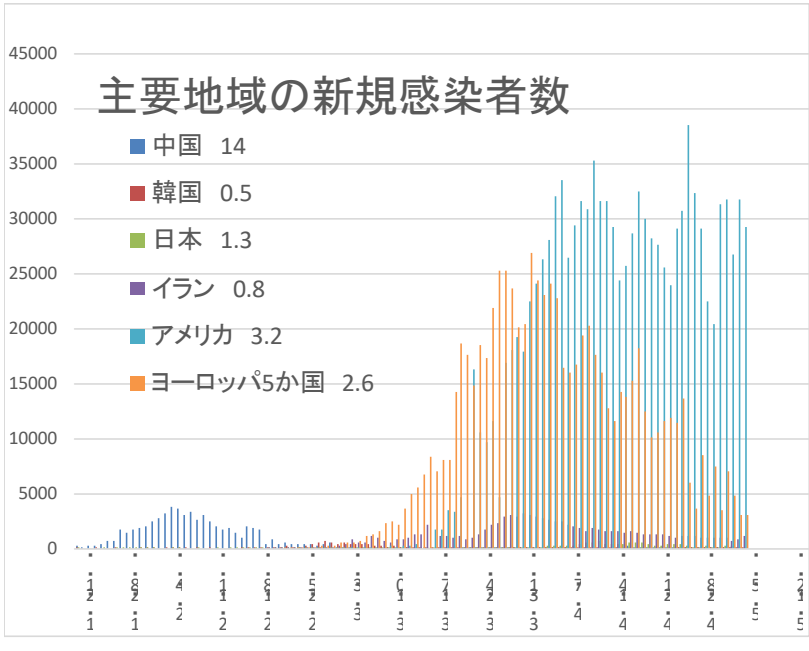
▽交通機関を使う時は会話は控えめにし、混んでいる時間帯を避けること、

▽食事の時は持ち帰りや出前なども利用し、大皿を避けること、

▽テレワークや時差通勤を行うこと、

▽会議や名刺交換はオンラインで行うこと、

▽対面で打ち合わせをする際には換気を行い、マスクをつけること。



☆ **感染の傾向**：ヨーロッパの先進国は明らか減少傾向ですが地域の差は大きく、ヨーロッパ全体としてはまだこれからでしょう。アメリカの収束が始まりません、感染をコントロールせずに経済の再開を急げばどうなるか？古い教科書にその答えは明らかではありません。科学や歴史、そして他国から学ぶことの大切さを痛切に感じます。発展途上国の感染爆発が始まっています。さて日本は？

☆ **新型コロナはただの風邪だ**・・・ブラジルの大統領はそう叫んでいるようです。インフルエンザウイルスによる死者数は日本では毎年三千人を超えます。一方コロナ禍が始まって三か月で死者は六百を超えています。インフルエンザほどは怖くないのでしょうか。他国の医療現場の崩壊を見ればそんなことはいえないはず。

☆ **北欧の状況**

☆ 五月七日にスウェーデンの死者が三千人を超えました。感染者は約二万五千人に上ります。死者の割合は他の北欧諸国の3.5-7.5倍です。スウェーデンは都市封鎖をしておりません。小中学校は休校していません。お店は空いています。

☆ **コロナウイルスとの共存**・・・このウイルスが、今までの常識が通用しない特殊な強敵であることがだんだんわかってきました。今のままでは苦しい制限が解除できない可能性があります。医療の現場では崩壊の危機と隣り合わせで終わりの見えない戦いが続いています。飲食業、旅客業をはじめそのほかの多くの業種の方が地獄の苦しみを味わっていることも忘れてはなりません。長期戦である以上、経済も回すこと、できる限り以前の状態を回復させることも必要です。他国の例を参考にしながら、医療崩壊をとにかく避けて、日常を取り戻すことが必要でしょう。当院においても新しい生活様式に向けて以下の取り組みを行います。

☆ **当院での新たな体制**

☆ リハビリ部門を再開します。ご迷惑ご不便をおかけしましたが、十分な感染対策を取りつつ、五月一八日よりリハビリ部門を再開します。言語訓練も再開します。

☆ **オンライン診療を開始します**。電話再診の活用もお勧めしています。初診も含めオンライン診療を始めます。患者様側で用意の必要なものは、アプリをインストールしたスマホとクレジットカード・保険証と身分証明書(運転免許証など)です。裏面に詳しく示しましたが、わからなければ受付でお尋ねください。五月十八日以降開始します。電話再診による暫定的なオンライン診療(再診のみ)は午後二時半から三時迄の間、今でも行っております。

☆ **桑名市PCR検査の検体採取センターが稼働しています**。五月十一日からはドライブスルー方式

☆ **PCR検体採取が応急診療所で始まります**。かかりつけ医師の診察を受けてPCRの検査が必要と判断されたとき、指定された日時(週5日昼過ぎの1時間)に行っています。完全予約制で勝手に行くことも検査はしてもらえません。PCR検査が他国並みに増えて、保健所や基幹医療施設の負担が減ることを祈ります。

☆ **4日もまたないでください**！

☆ 病気に打ち勝つ基本は、病気に負けないからだ。と、早期発見・早期治療です。37.5度の発熱を4日待てというのには全く医療の原則からはかけ離れています。新型コロナウイルス感染症は待っている間に急激に悪化することがあります。体調が悪いと感じた時、まずは仕事や学校を休んで人と合わないこと。栄養をつけて体を休めること。それから風邪のような症状なら、感冒薬やできれば漢方の風邪薬を飲むこと。すぐに改善しないようなら、早めに医者に相談すること。これは今までの生活様式と何ら変わるものではないです。

▽ **体調が悪い時、発熱が続く、全身倦怠感が強い、息が苦しいとき、味覚・嗅覚が落ちた時、まず早いうちにかかりつけ医に電話で相談しましょう。**

▽ **病院からのお願い**

★ **電話再診も利用ください**

★ **オンライン診療も利用できます**。ご相談ください

★ **体温を自宅で計って発熱があればあらかじめ連絡をください!**

★ **病院の入り口で体温を測ります**。発熱者は車内での待機をお願いすることがあります

★ **入り口で手指消毒・マスクをしてください**

☆ **桑名市PCR検査の検体採取センターが稼働しています**。五月十一日からはドライブスルー方式

コロナニュース ⑥ 二十二十年五月九日発行  
編集・文責 村松正俊



